

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援センター にじっこ田川（放デイ）		
○保護者評価実施期間	令和8年2月2日		～ 令和8年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	令和8年2月2日		～ 令和8年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員人数が多いため（必要に応じて児発の先生に協力できる環境）手厚い支援を行うことが出来る	<ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめ、職員が多くほしい活動の時には、事前に相談を行っています ・その時々によって、ヘルプが欲しい時に、各教室にあるヘルプボタンを押すなどの環境が整っています 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、職員間での協力をを行い、お子さんの安全を第一に考えた療育支援を提供していく
2	保護者の方と送迎時やライン、電話を使用し、密に情報の共有をすることが出来る	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時には、保護者の方と直接コミュニケーションをとることが出来るので、その日の様子を直接伝えることが出来ています。 ・学校から帰ってきて、体調の変化が少しでも感じられたときには、ラインで保護者にその状況をお伝えすることをしています 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、電話やラインを使用し、スムーズなやり取りを行っています。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が少ない	事業所内での支援環境を整えることを最優先としてきたため、地域資源の活用や外部からの客観的な評価を取り入れる仕組み作りが後回しになっていたと考えられる	・近隣の公園清掃や地域行事への参加を段階的に検討を行い、地域社会への周知を図ります。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 令和8年4月20日					
子ども発達支援センター にじっこ田川 (放デイ)		保護者数	回収数	回収率	利用児童数	回収数	
		28名	21名	75%	28名	21名	
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	20			1	多動の息子も楽しく過ごせている	
	2	16			5		
	3	20			1		
	4	20			1		
適切 な 支 援 の 提 供	5	20	1			特性を理解され、子供に合わせた支援を	
	6	21					
	7	20		1			
	8	21					
	9	19	1		1		
	10	19	1		1		
	11	12		1	8		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	21				来年からの休みの時間短縮が大変です	事前に文書でご案内の通り、4月～サービス提供時間に準じた運営体制および延長時間の見直しを実施しております。今後もお子さんと保護者の方との連携を大切にしながら、より良い支援と円滑な運営を目指してまいります。
	13	21					
	14	19			2		
	15	20	1				
	16	20	1				
	17	20	1				
18	17				4		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	1		2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	1		2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20			1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	1		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	2		1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	21					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21					
	29	事業所の支援に満足していますか。	21					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こども発達支援センター にじっこ田川 (放デイ)		職員数	5名	提出数	5名	提出率	100%	公表日	令和8年4月20日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点					
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・空いている教室や、中庭、プランコトランポリンを使用する場所がある					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		・職員が多く必要な時には、児発の先生も手伝ってくれています					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・過ごしやすい環境になるように、必要に応じて視覚的支援を取り入れています					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・毎日掃除を行い、清潔を心がけています					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・放課後は特に色々な部屋を使用できるようになっているので、部屋には困っていないが、休校日は、少し児発との譲り合いが必要です(運動の部屋など)					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		・職員会議の時に話し合っています					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・評価内容を職員会議で共有して、端緒と調書について先生たちと話す機会があります					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・職員会議時に、意見を言いやすい環境です					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	・第3者評価をしてもらうことになっていると聞いている					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・自分が興味のある研修を先生たちと共有し、最新情報などの共有を行えています ・法人でも研修案内が来ます。					
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・支援プログラムは、公表されています					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		・クラス会議時などにお子さんの話を行うことが出来ています					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・クラス会議時などにお子さんの話を行うことが出来ています					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・定期的に、お子さんの支援が適切か職員で話を行うことが出来ています					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・インフォーマルアセスメントを使用している					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・はい。どのお子さんの計画書にも入っています					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・クラス会議時に、月ごとの活動内容を考えられています					

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・固定化しないように思っていますが、スキル習得に向けて一定時期、同じ活動を繰り返すことが必要なお子さんもいます	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		・支援については、必要に応じて職員間で話し合い、計画書に沿った支援を提供している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・ホワイトボードを使用し共有している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・業務日誌に記入しながら話を行えている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・支援終了後に記録を行うことが出来ていません	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・受給者証のモニタリング時期に応じて行っています	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		・お子さんによって、選択する練習から始め、自分で決めることが出来るようサポートしている	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・児童発達管理責任者又は、管理者が参加しています	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		・小学校送迎時には、学校の先生と必要に応じて情報の共有を行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		・引継ぎ前の担当者会議などを行い、情報の共有を行うようにしています	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		・該当者がいないので、いいえに付けました。 ・今後必要があれば、情報を提供したいと思います	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	・児童発達支援センターとは協力していると思います。助言を受けているかはわかりません	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	1	・学童と併用しているお子さんも多いです	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		・管理者が出席しています	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・ハグの連絡帳や送迎の時に、保護者の方とその日の様子を共有することが出来ています	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		・各ご家庭からの希望で個別で行っています		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・契約時に行っています	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		・個別支援計画書は、全てのご家庭に同意を得ています	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・必要に応じて、児発言や管理者が対応しています	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	2	・イベントで保護者の方やご親戚ごきょうだい児の参加イベントがある。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		・インスタグラムや活動報告（ハグ）にて活動風景をアップしている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・インスタグラムや活動報告（ハグ）にて活動風景をアップする際には、個人が特定されないようスタンプで顔を隠している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・必要に応じて、だれでもわかるような優しい日本語での表記を行っている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	・お餅つきなどの時には、商工会の方がお手伝いに来て下さった	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・毎月1回避難訓練をしている ・避難訓練係が、日時を事前に決め、行うため、日頃から、災害を想定して避難ルートなどを意識することが出来ている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・毎年11月に保護者の方にご協力してもらい、引き渡し訓練をしている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		・てんかんや服薬があるお子さんは、事前に職員間で共有している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	3	・医師の指示書はもらっていないが、アレルギーについては保護者の方より毎年申告してもらっている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・安全管理を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		:玄関に書類を置いている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・毎月ヒヤッとしたことをみんなで共有し、大きな事故を防げるようにしている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・虐待防止に関する研修をうけ、みんなで、怒りやすい状況を共有している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		身体拘束が必要なお子さんは、まだいない。		